

ご意見概要（市有地、駅前街区に関する意見などについて）	回答・対応の方向性
<p>【第2回シノロリビングの企画案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 想定している社会実験の時間帯を教えてください。 ● 前回、準備期間が短かったこと、寒い、周知活動が開催直前だった、ということがあった。スモールスタートということだが、社会実験がまちづくりにもたらす<u>明確なビジョンは？人が集って楽しむだけが成功ではないということだが、どんな実験か。</u> ● <u>人を集められるポテンシャルを發揮できないのではないか。例えば地域の人が来場しやすい土日に絞り開催することも考えられる。</u>成功するためにポイントを絞った企画になるとよいと思った。先日、数年ぶりに篠路神社で催事を行い、たくさんの集客があったことを踏まえると、飲食が数多くある方が、活気があり、コミュニティが広がると思う。 ● 第3回検討委員会のご意見の回答で、“交通広場として設計を終えています”とあるが、この社会実験を通じて必要があれば、交通広場について再度議論を行うということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 10時から20時を想定している。今後の調整を進めて最終的に決定する。 ● 10年後の姿を見据えたまちづくり計画を策定しているが、1点目は、<u>そこで目指す場が地域の中で利用があるのか、事業者等の需要があるのか、そうした場が実現する可能性はあるのか</u>を検証したい。市有地や駅前街区の整備が進んでいった際に、<u>社会実験で行っている取組や検証結果を場づくりへ反映させていきたい</u>、という大きなプロセスを想定している。2点目は、<u>場を使った取組を行う体制が地域にあることがポイント</u>であり、場を使われるような仕掛けをしていきたい。<u>社会実験を通じてそうした機運を地域のコミュニティの中に高めていきたい。</u> ● 人が集まる仕掛けは考えてなくてはならない一方で、<u>必ずしも人が来ることが成功としては考えていない</u>。土日に人が集中することが分かれば平日は別の使い方をする、一週間を通して賑わいが作れるならそのような広場にしていくなど、検証を踏まえて場の整備に活かす。使われないと寂しい空間になるので、社会実験の形で、篠路でどれぐらい使われるのか、平日も含めて検証が必要だと考えている。 ● 交通広場としての施設整備は決定しているが、駅前街区との連携などソフト面での空間の使い方は提案の可能性はあるという意図を含めてご回答している。
<p>【まちづくり計画策定後の展開について】 ※全体発表・総括のとりまとめ</p> <p>—1 班目—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会実験にしろ、まちづくりにしろ、まずはまちづくりを進める<u>具体的な目的</u>をまとめるべき。 ● 具体的な目的を明確にするためには、更なる課題や問題点の抽出が必要と考える。 ● 既存の<u>組織から代表者を選出した「新たな組織（公式な）」が必要と考える。その中でお互いが抱える課題や悩みを話し合い、地域全体で目的を明確化する。</u> <p>—2 班目—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これからできる駅前の空間（道路や駅前広場など）を活用する人は特定の事業者や建物の方ではなく、<u>空間全体をエリア全体でプロデュースするような仕組み</u>が必要。<u>地域の人</u>がしっかり関わるべきである。 ● <u>シノロリビングも単に場を作るだけでなく、地域が入り込むきっかけに利用</u>したほうがいい。 ● 「関わる地域の方」は課題で、世代や人がはっきり見えていない。<u>シノロリビングをきっかけに、関わりたいと思う若い人も関われる場</u>にするとうい。 ● 漠然とまちづくりなどではなく、<u>テーマ（例 子供、高齢者等）を明確に決めて集まるきっかけを作る</u>方が、集まるかどうかの検証もしやすい。 ● シノロリビングを地域交流の場にしていくには、<u>地域協議会の場（地域協議会 2.0）が引き続きあり、企画を出し合える場が必要</u>で、次のステージに繋がる場が必要。 	<p>—まとめ—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 篠路には多様な組織による地域活動が行われており、そうした活動を駅前周辺に繋げていくことによってエリア価値が高い街になる。地域主体のまちづくりとなるよう、この場にはいない方々もしっかり巻き込む機会が必要。 ● シノロリビングが人づくり・まちづくりのきっかけになるし、活用していくべき。それを通じて篠路を担えるまちづくり・人づくりに繋がると良い。

— 3 班目 —

- 10年後をただ待ってられない。何かしら取組をしていくべき。
- 若い世代の意見を積極的に入れていかないといけない。そのためには、意見が出る場づくりが必要だが、参加にはハードルがあるので、行政のフォローが入った方がよいのではないか。
- 子育て世代は篠路に住んでいく方々で、PTA などの連携が重要だが、今活動している組織と連携、交流ができる意見交換の場が必要。
- 自主性が重要なキーワードで、地域の方々が盛り上がることを行うことが成功体験に繋がる。シノロリビングといった機会を活用しながら若い世代などから出た意見や取組を実施していけるとよい。
- まだハード整備が進んでいない場所に、シノロリビングでの取組を空間づくりに落とししていくことができるとよい。
- 魅力の目玉がない中で、情報発信をする場が駅前にあるべき。また、篠路神社をより PR すべき。
- ハード整備は、オンデマンドバスなど進んだ技術も取り入れるべき。